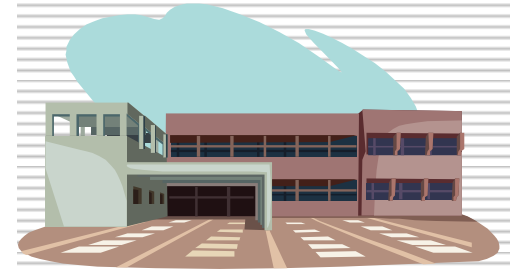


公共施設マネジメント推進について 市民合意形成の取組

～ 将来世代に負担を先送りすることなく、
より良い資産を次世代に引き継いでいくために ～

平成29年10月3日

総務部 公共施設マネジメント推進課



1 出前講座の開催状況について

実施日	地区	実施日	地区
1月18日(水)	中条	8月8日(火)	三輪 芹田
3月22日(水)	第四	8月18日(金)	七二会
4月26日(水)	芋井	8月19日(土)	松代
5月10日(水)	大豆島	8月20日(日)	大岡
5月16日(火)	豊野	8月24日(木)	戸隠
5月17日(水)	小田切	9月6日(水)	古牧
5月22日(月)	篠ノ井	9月13日(水)	更北
6月9日(金)	朝陽		
6月10日(土)	浅川		
7月1日(土)	若槻		
7月21日(金)	第二		

平成29年9月末現在
参加人数660人

詳細 別冊資料2-2

<当面の開催予定> 10月4日(水)古里、10月18日(水)鬼無里、10月20日(金)吉田
10月23日(月)信州新町、10月30日(月)柳原、11月22日(水)信更

<日程調整中の地区> 第一、第三、第五、若穂、川中島、長沼、安茂里、

2 市民ワークショップについて

- ・昨年、芋井地区をモデルに開催した「市民ワークショップ」について、他の地区でも市民と行政が地域の公共施設の再配置について一緒に考えるワークショップを開催する。
- ・今後3年程度で、全地区での開催を前提に住民自治協議会に協力を依頼。
(H29年2月16日自治協理事会において)

《ワークショップ開催のねらい》

公共施設見直しの計画策定前の段階から、市民と市(行政)と一緒に検討する、地域の公共施設に関する試み。

人口減少時代の中、地域の賑わいや、活力あるまちづくりにつながる施設の集約化、多世代交流の促進を生み出す複合化・多機能化など、様々な意見を自由に出し合い、提案や意見を整理して、地域の公共施設再配置検討のたたき台にする。

なお、ワークショップで対象施設の整備方法や存続廃止を決定するものではない。

昨年度開催済
芋井地区

平成29年7月7日
芋井地区公共施設整備
検討委員会から第一次提言書

開催中 篠ノ井地区

平成29年度開催予定
松代、大岡、信州新町、
七二会、朝陽、浅川地区

平成30年度以降開催予定
第一、第二、第三、第四、第五、若穂、
川中島、更北、信更、古里、柳原、
大豆島、若槻、長沼、安茂里、小田切、
豊野、戸隠、鬼無里、芹田、古牧、
三輪、吉田、中条地区

各地区の課題に対応した開催方法を協議するために、一定の時間を要するため、平成30年度開催地区を今年度中に検討し、日程調整等を進めたい。

2 市民ワークショップ

篠ノ井地区

※開催終了

- 篠ノ井地区における
ワークショップ全体のテーマ
- 1 篠ノ井地区公共施設整備
 - 2 南部図書館の移転改築
 - 3 篠ノ井駅周辺の活性化対策

開催日	開催場所
8月6日(日) 14:00-16:00	篠ノ井公民館
8月27日(日) 14:00-16:00	〃
9月10日(日) 14:00-16:00	〃
9月23日(土) 14:00-16:00	〃

〔主な検討対象施設〕

南部図書館、篠ノ井こども広場、南部勤労青少年ホーム、南部働く女性の家、中央保育園、中央児童センター、通明小学校、篠ノ井西小学校、公民館川柳分館 ほか

WSメンバーの公募について

- 参加メンバーを篠ノ井地区住民自治協議会が公募。30名程度を目処として募集
- 6月20日から7月10日まで募集し19名が応募。残りのメンバーを自治協で追加人選
- 支所職員3名も参加

詳しくは別冊
資料3-1～
3-2参照

- ・地元からは、篠ノ井駅西口市有地へのこども広場と併せた南部図書館移転改築について市長要望あり
 - ・現在、篠ノ井市民会館跡地への支所・公民館・老人福祉センター整備が事業化、狭隘化し耐震化が必要な図書館への関心が高い
 - ・市議会特別委員会からは、図書館は広域的な施設であり、篠ノ井地区だけで議論するものではないとの指摘
- ※篠ノ井地区WSは、前橋工科大学堤准教授のBaSSプロジェクトの共同研究事業として実施

2 市民ワークショップ

朝陽地区

朝陽地区における
ワークショップ全体のテーマ
朝陽支所と公民館の整備

開催予定日	開催場所
9月17日(日) 10:00-12:00	朝陽支所
10月21日(土) 10:00-12:00	〃
11月18日(土) 10:00-12:00	〃

〔主な検討対象施設〕

朝陽小学校、朝陽支所、朝陽公民館、朝陽社会体育館、児童センター ほか
(エムウェーブ、リバーフロントスポーツガーデン)

朝陽小学校の整備について

- 朝陽小学校は、敷地が狭く、市道を渡ってプールを利用するなど、校地拡張が長年の懸案である。
- 体育館・児童センターの建替等の事業化を進めているが、周辺の民地の買収等に時間がかかる。
- 当面は児童数も増加が見込まれる中、地元の強い要望もあり小学校の整備事業が進んでいる。
- WSIにおいては、当面の検討対象施設からは外す予定。

- ・ 朝陽地区は、大豆島・柳原・古里地区に囲まれ、いずれも総合市民センター化整備が行われており、朝陽が取り残されているとの住民感情が強い。
- ・ 地区内に公共施設が少なく、複合化・多機能化を検討する地域施設が無いのが現状。
- ・ これまでの市民会議でも支所・公民館整備を要望しているが、市から、地元としての整備計画(案)の提示を求められており、地元の検討組織を立ち上げた。しかし、朝陽支所は新耐震である上、現地での建替えも難しいことから、移転する場合には用地取得も必要となる。

2 市民ワークショップ

松代地区

松代地区における
ワークショップ全体のテーマ

- ①真田公園周辺及び支所周辺施設
- ②小学校5校の周辺施設

開催予定日	開催場所
11月26日(日) 10:00-12:00	松代支所
12月10日(日) 13:30-15:30	〃
12月24日(日) 10:00-12:00	〃
1月21日(日)13:30-15:30	〃

〔主な検討対象施設〕

小学校6校、松代中学校、松代公民館、分館・分室8館、真田宝物館、象山記念館、松代文化ホール
保育園6園、児童センター・児童館3館、松代支所、市住・教員住宅 ほか ※文化財は検討対象外

松代荘周辺整備について

- 自治協として地区住民アンケートを実施 (29年2月市長へ報告)
- 松代荘(リニューアル)、老人憩の家(老朽化)、保健保養訓練センター(利用者減少)の一体的整備
- アンケート結果を踏まえた整備計画(案)を市として検討中

- ・地元からは、松代城址第二期整備計画及び周辺環境整備に対する意見書を市長へ要望(6月)
- ・WSメンバーの一部は公募による
- ・松代地区の中央(真田公園・支所周辺)の施設についてのグループ討議と、周辺の小学校及びその周辺施設についてのグループ討議をそれぞれ実施する予定。

2 市民ワークショップ

大岡地区

大岡地区における
ワークショップ全体のテーマ
より良い大岡にするために
小さな拠点づくりと公共施設再配置
(都市政策課とマネジメント推進課が共同開催)

開催予定日	開催場所
12月9日(土) 13:30-15:30	大岡支所
12月23日(土) 13:30-15:30	〃
1月14日(日) 13:30-15:30	〃
1月28日(日) 13:30-15:30	〃
2月11日(日) 13:30-15:30	〃

[主な検討対象施設]

大岡小・中学校、公民館、聖山パノラマホテル、大岡温泉、歴史民俗資料館、老人福祉センター・保健センター、保育園、診療所、道の駅大岡、農村文化交流(山村留学)センター ほか

小さな拠点づくりモデル地区について

- 都市政策課が地区住民アンケートを実施 (28年10~11月実施、2月理事会へ報告)
- 交通利用、居住意向、重要な施設、日常生活の困りごと、地区の良いところ、活性化の課題等
- WSを通して、持続可能なまちづくり活動等に取り組むための仕組みづくりを目指す
- 公共施設、地域活動、公共交通、移住定住といった分野ごとの取組をつなぎ、地域の困りごとを解決していく

7月14日開催 シンポジウム「大岡の明日を考える」 主催:ZAPPAKUの会
 第一部 講演会『見えてきた、地域再生』 明治大学農学部 小田切徳美 教授
 第二部 『小田切教授への質問』 コーディネーター 長野大学環境ツーリズム学部 相川陽一 准教授
 信州大学地域総合戦略推進本部 新雄太 研究員

2 市民ワークショップ

信州新町地区

信州新町地区における
ワークショップ全体のテーマ
信州新町地区の公共施設について
考える(予定)

開催予定日	開催場所
11月12日(日)14:00-16:00	信州新町支所
11月25日(土)14:00-16:00	〃
12月16日(土)14:00-16:00	〃
1月13日(土)14:00-16:00	〃

〔主な検討対象施設〕

信州新町小・中学校、公民館、水防会館、さざり荘、犀川交流センター、信州新町福祉センター、授産センター、新町消防署、保育園、体育館・市民プール、信州新町道の駅、ほか

博物館・美術館活性化の動きについて

- 信州新町博物館施設の活用を検討する会 (29年5月26日から)
- 博物館(美術館・有島記念館・化石博物館)、信級・日原文化財収蔵庫、ミュゼ蔵(賃借ギャラリー施設)
- JIDA=日本インダストリアルデザイナー協会との連携 (ミュゼ蔵一部展示、日原文化財収蔵庫に保管)
- 昨年度、ミュゼ蔵廃止の計画に対して反対署名運動あり
- 前提としてワークショップの検討対象施設からは除く

- ・ 生き生きトークにおいて、昨年「信州新町の将来像」、一昨年度「観光面からの信州新町の活性化について」テーマにワークショップを実施した。
- ・ 信州新町小学校の老朽化が著しい状況。北校舎は土砂防レッドゾーン。
- ・ 小学校が移転した場合、北校舎は解体しても南校舎・体育館等の利活用に住民要望が想定される
- ・ 中学校にはプールが無く、現在は市民プールを利用。

2 市民ワークショップ

七二会地区

七二会地区における
ワークショップ全体のテーマ
七二会支所の建替え

開催予定日	開催場所
10月16日(月)19:00-21:00	七二会支所
11月14日(火)19:00-21:00	〃
12月4日(月)19:00-21:00	〃

〔主な検討対象施設〕

七二会小学校、笹平分校、七二会中学校、七二会公民館、七二会支所、七二会体育館
七二会消防分署、七二会保育園・ふれあい交流広場 ほか

支所建替え要望について

- 七二会支所は1968年建築S造、耐震性なし。市内28支所の中でも優先対応が必要な状況にあるが、JAとの合築のため、JAの意向が固まらずに対応が遅れている。
- 地元では、他の支所に比べて後回しにされたとの思いもあり(篠ノ井・芹田・中条が事業化)、早期隣接地への建替えを要望している。
- 11月頃にJAの方針が出る予定。

自治協の意向

七二会では小学校の統廃合など公共施設の再編を進めてきた。保育園とふれあい交流広場複合化にも取り組んできた。消防分署・社会体育館など広域施設を除くと課題は、支所建て替えと小学校笹平分校の活用ではないか。

2 市民ワークショップ

浅川地区

浅川地区は芋井方式に捉われず
《自治協役員、及び、団体関係者を
中心としたヒアリング》を実施し、
個別施設について検討を進める方針

開催予定日	開催場所
11月11日(土)10:00-12:00	浅川支所

〔主な検討対象施設〕

浅川小学校、北部中学校、浅川公民館・分室、浅川支所、浅川体育館、北郷体育館
西条人権同和教育集会所、児童センター、マレットゴルフ場 ほか

スパイラルの在り方見直しについて

- 施設老朽化、包括外部監査の指摘、マネジメント指針の方向性など踏まえ在り方を検討。
- 地元(自治協・友の会)、連盟は存続を要望するも、公共施設適正化検討委員会は製氷休止を提言
- 市として、平昌オリンピックシーズン終了以降の製氷(冬季競技施設)休止を判断。
- 地元の活性化や市民利用を前提としたスパイラルの後利用が課題となっている。

・自治協の意向

スパイラルについては、今後の活用方法について市のビジョンを前提に検討するためWSの対象外とする。浅川地区全体の課題とすれば公民館分室と児童センター等である。北郷体育館、西条人権同和集会所は利用者が限定されており該当地区中心に検討していきたい。

3 市民ワークショップ開催に対する主な意見①

- 総量縮減というが、当地区には減らせる施設が無い。新たに施設を増やす要望になってしまうのではないか。

(地区の状況によっては提案が総量縮減にならない可能性もあるが、長野市の現状と課題等をWSメンバーに理解していただくことが重要と考える。)

- ワークショップのテーマをどうするか悩ましい。テーマによってメンバーをどの様に集めるか変わってくる。

(基本的なテーマは「地区の公共施設について考える」。地区課題があればWSのテーマに繋がっていく。メンバーの人は自治協に主体的に進めていただきたい)

- 公共施設について理解の無い人を集めて、いきなり話し合えと言っても意見は出ない。

(グループ討議の都度、ファシリテーターから論点を提示して議論を進めていく。メンバーは一般市民として自由に発言していただきたい。)

- 各施設には設置目的や利用状況がある。それぞれの施設の市の方針を示してもらわないと考えられないのではないか？

(市として一定の方向性は示すが、WSは具体的な方針が出ていない施設を中心に議論していただく。)

- 将来の公共施設再配置と言うが何年後の時点について考えるのか。(限定していない)

- 学校に複合化・多機能化の方針と言うが、学校がどうなるか分からない。学校の統廃合について話し合うことはできないのではないか？

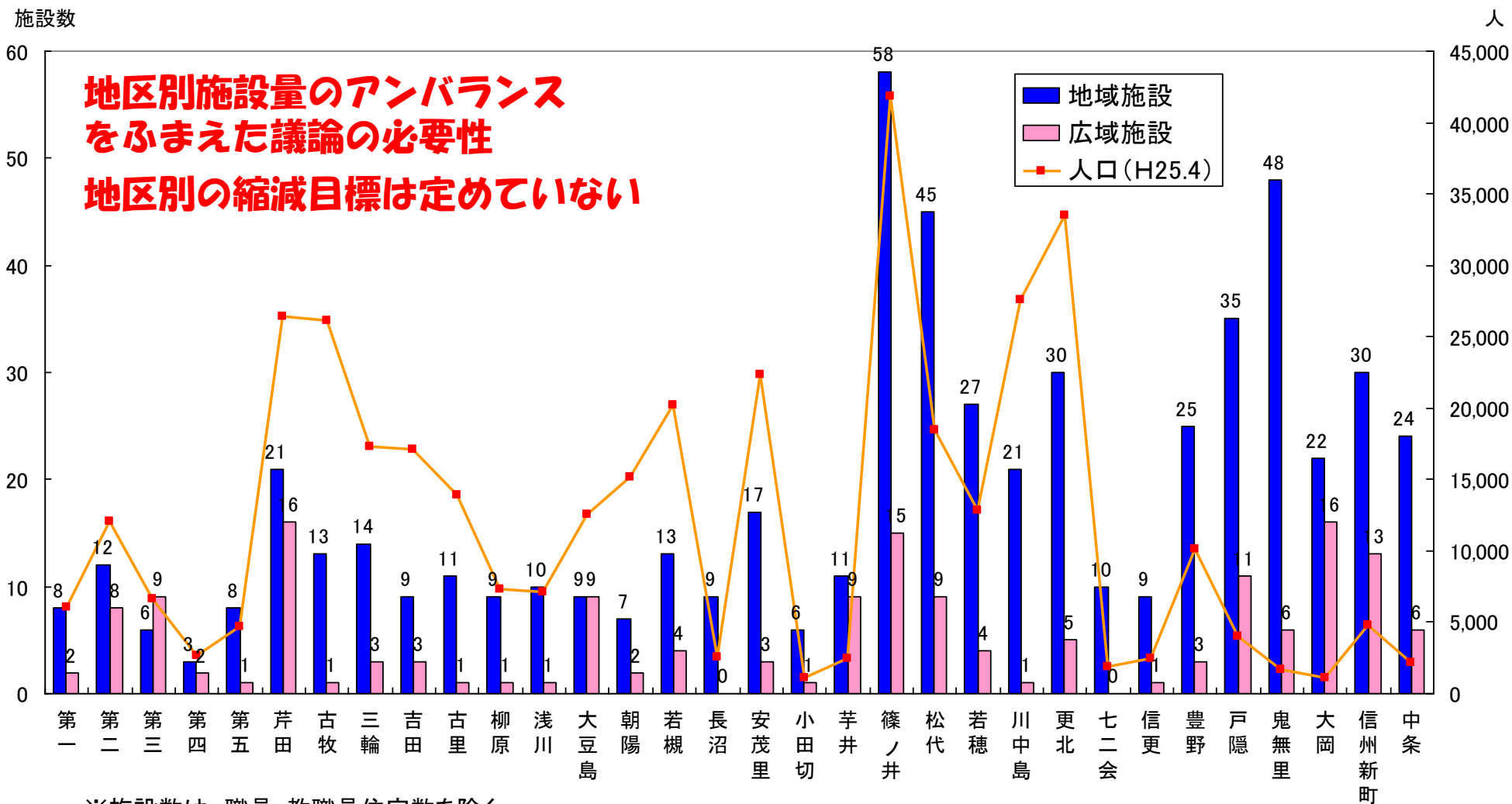
(学校を、周辺施設複合化の受け皿にできないか、話し合うことは可能と考える)

3 市民ワークショップ開催に対する主な意見②

- **ワークショップを早く開催すれば早く事業化できるのか？**
(各地区でWSを開催することで多くの課題が見えてくると考えており、市全体の課題に優先順位を付け、総合的に判断しながら事業化に進めていくしかない。WSの開催順で事業の順番を決めることはできない。)
- **ワークショップで話し合っても整備予算が付かなければ提案の通りにならない。それではワークショップをやるだけ無駄ではないか。**
(地区WSの提案は、市として重く受け止める。市の現状を理解いただきながら、住民合意形成に向けて必要な取組であり決して無駄にはならないと考える。)
- **ワークショップを開催したら、もう地元の意見は聞いたと言われると困るのではないか。**
(WSの提案は結論ではない。事業化に向けては地元と協議しながら進めていく。)
- **ワークショップには欠点がある。事業化までに時間がかかる、メンバーによって提案が偏ってしまう、声の大きな人の意見に引きづられる。提案しても実現しない。芋井で成功しても他の地区でうまく行くものではない。**
(WSをやれば全て上手くとは考えていない。公共施設マネジメントは長い取組となるが、将来の長野市のために今取組まなければならない課題である。メンバー人選も含めて各地区の状況に応じて自治協と相談しながら、開催方法について柔軟に対応する。)
- **地元の意見も聞かずに行った施設の評価・分析は乱暴だ。**
(あくまで定量的な分析であり検討材料としての評価である。)

ワークショップ開催後の、地元及び市側の検討体制づくりが必要

地区別の施設数は、合併地区を除き、その地区の人口と概ね比例。合併地区には、比較的多くの施設があるが、市営住宅、産業振興施設などの小規模な施設が多くを占めている。



公共施設(建物)

地域施設

小・中学校
支所・公民館
保育園・児童館
老人福祉施設 等

ブロック施設

保健センター
市民プール
給食センター
産業振興施設 等

広域施設

観光レジャー施設
大規模集会施設
図書館・博物館
オリンピック施設 等

地区別

施設別

再編の方向性

地域コミュニティの核となる
小・中学校に集約化(複合化)

市全域の配置バランスを考慮
地域密着度を考慮(合併地区)

地区では支所・公民館に関心が高い

住民ワークショップ方式

市民シンポジウム方式

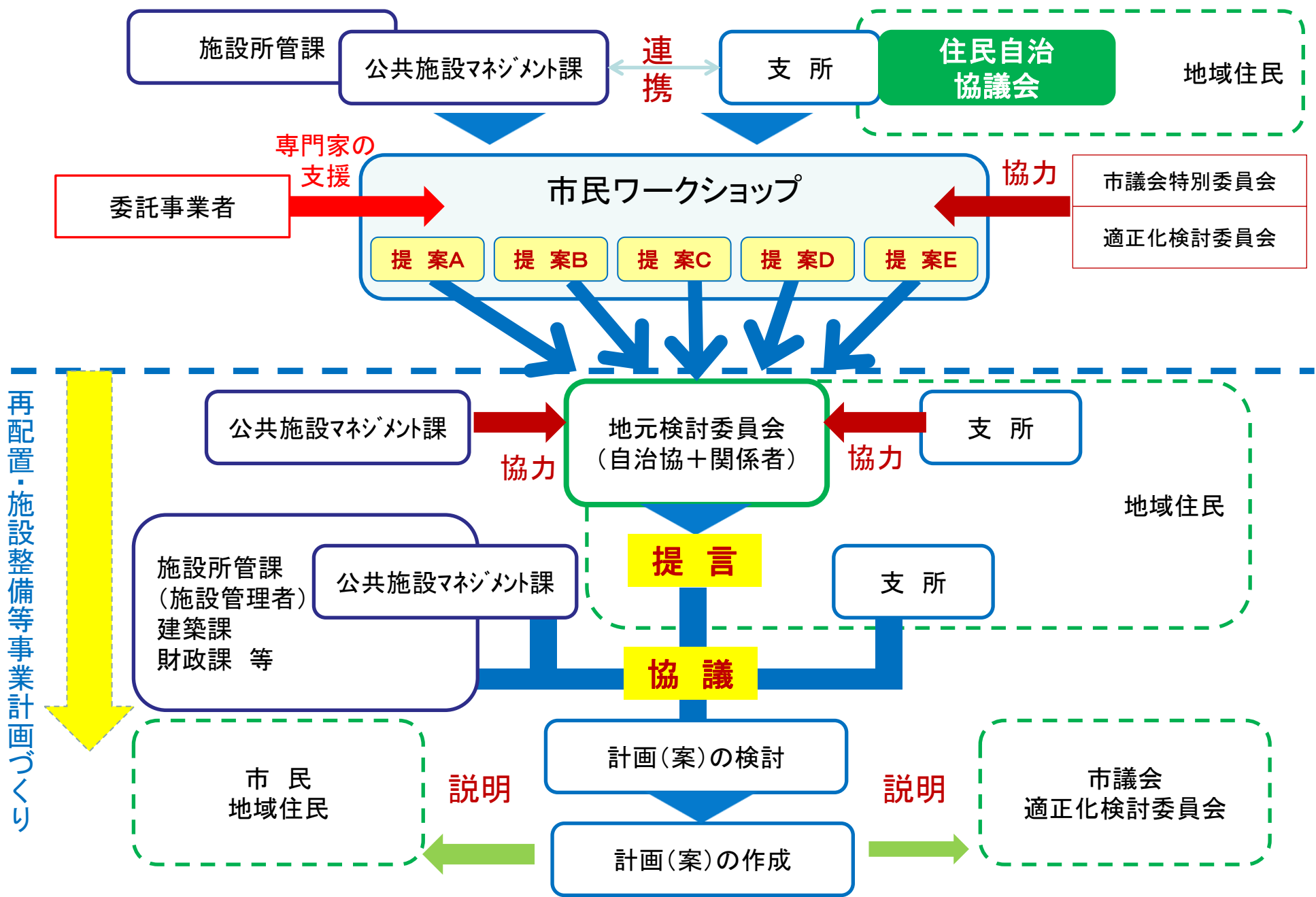
市民合意形成手法

連携

支所(支所長)
住民自治協議会

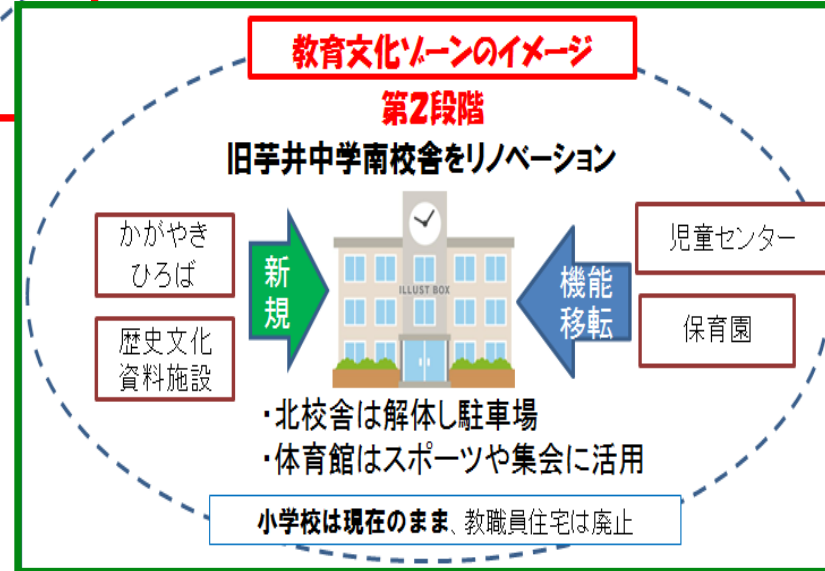
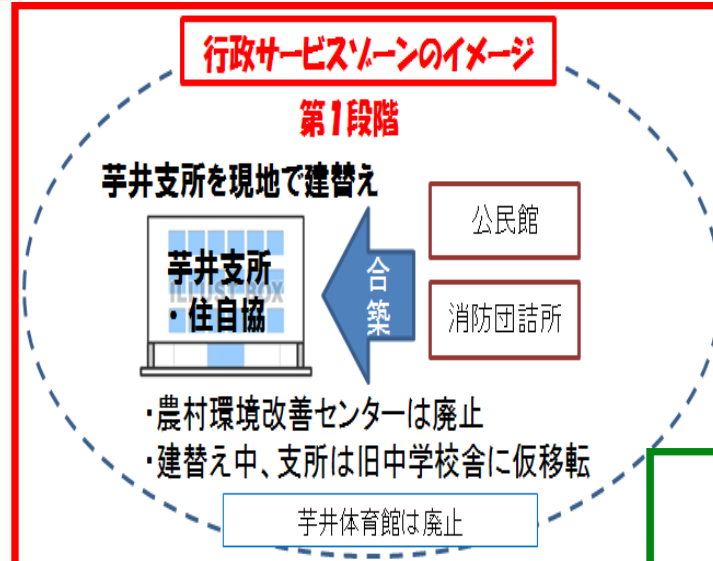
施設所管課
民間企業等

市民ワークショップから計画づくりへ



芋井地区公共施設再配置に関する
第一次 提言書

芋井地区公共施設整備検討委員会
提言日 平成29年7月7日



提言の詳細は、別冊資料4-1、4-2、4-3参照。
事業化に向けて引き続き地元と協議を進めていく。まずは、現在の支所の土地(及び建物の一部)所有者であるJAながのとの協議を行う。